

1. 事業の概要

事業名 市内重要遺跡（臼井田宿内砦跡）に伴う埋蔵文化財調査業務委託
遺跡名 臼井田宿内砦跡（主郭部第4次）
所在地 佐倉市臼井田字宿内地先（宿内公園）
調査期間 令和2年1月20日～令和2年1月24日
調査種別 確認調査
調査面積 36.00 m²／915.00 m²

2. 調査の概要

1：遺跡の立地

西印旛沼の南面 0.8km、標高約 26～27mの舌状台地上に位置する。

2：調査の方法

調査区内トレンチは人力により表土を除去し、遺構確認面である関東ローム層まで下げ、その土層堆積を確認した。その後、必要がある部分については、遺構の一部に精査をおこなった。

3：調査の概略

調査範囲である曲輪の北側、南側、中央部の3か所に合計 36 m²のトレンチを設定した。そのうち中央部の2トレンチからは中世溝状遺構が2条確認された。

北側と南側に設定した1・3トレンチからは遺物・遺構は確認されなかった。
2トレンチからは表土中から縄文土器、弥生土器、古墳時代土師器、奈良・平安時代土師器が出土し、トレンチの南側寄りの中世溝状遺構が確認された。この溝は曲輪の東西方向に向かって両側に続いており、部分的に硬化面もみられた。

4：まとめ

虎口へと続く通路が曲輪の北側と南側に存在すると仮定しトレンチを設定したが、今回の調査では想定した通路及び中世の遺物は確認できなかった。

また、2トレンチで認められた溝には硬化面がみられることから一部は通路であると推定されるが、今回は全体の範囲は明らかにできなかったため、今後の課題となる。